

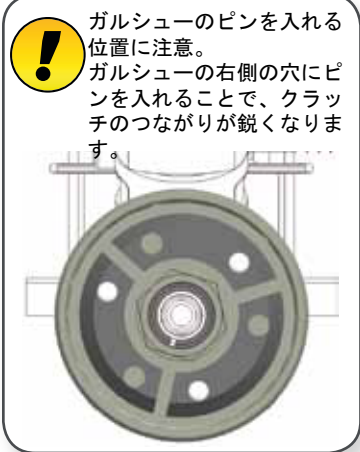
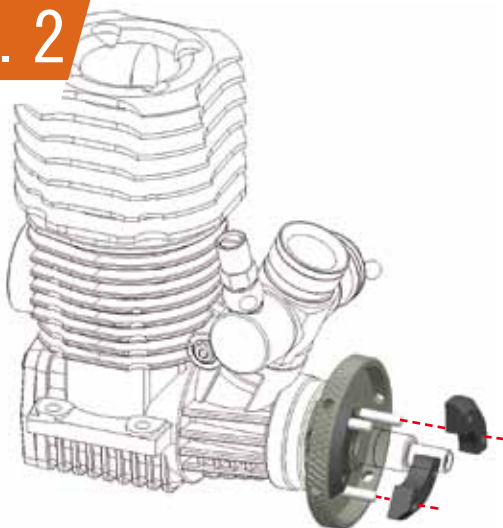
STEP 56. clutchba



2スピードギアとピニオンギアの位置を合わせるためにフライホイールコーンの下にクランクシャフトサイズに応じたシムを入れてギアの噛み合位置の微調整調整を必要に応じて行って下さい。
これは、クラッチを組み終えた後に行います。

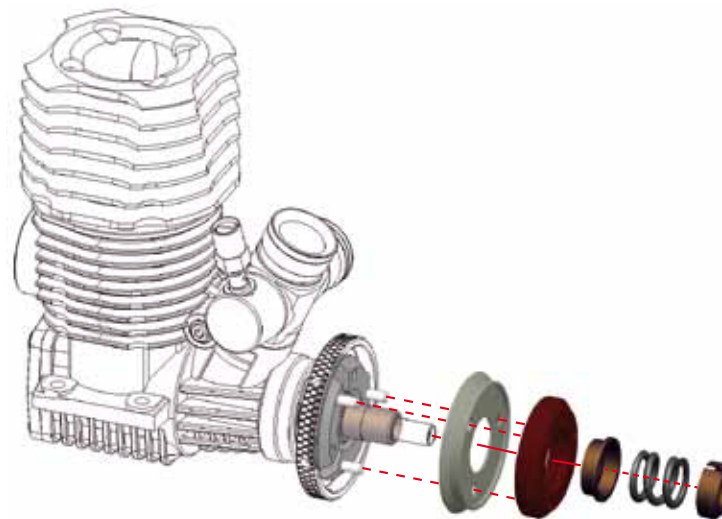
フライホイール側面の穴は、アジャストナットを回す際フライホイールが回転しないようにシャシー裏面からレンチなどを差し込んでフライホイールを固定するために使用できます。

56.2



ガルスューのピンを入れる位置に注意。
ガルスューの右側の穴にピンを入れることで、クラッチのつながりが鋭くなります。

STEP 57.

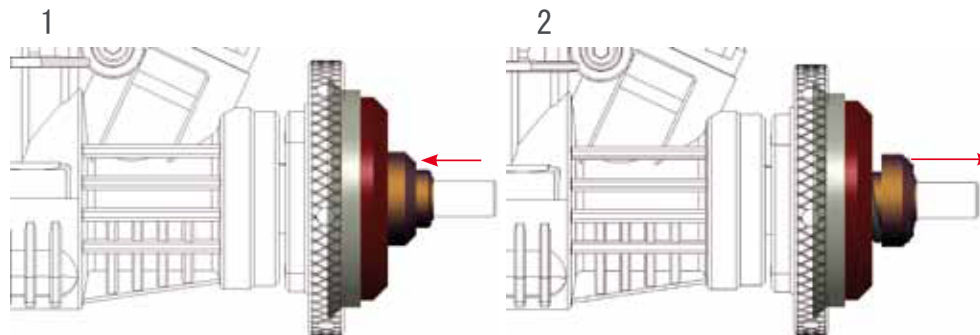


57.2

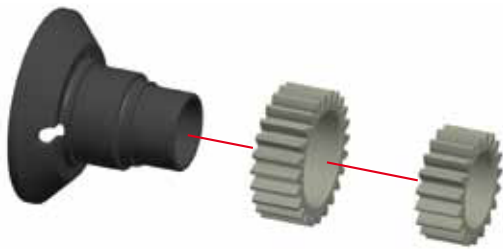


クラッチの初期設定

- 1 アジャストナットをすべて締め込みます。
- 2 アジャストナットを1回転半戻します。
- 3 エンジンを始動させ、実際のクラッチミートを確認しながらコンディションに合わせて微調整します。



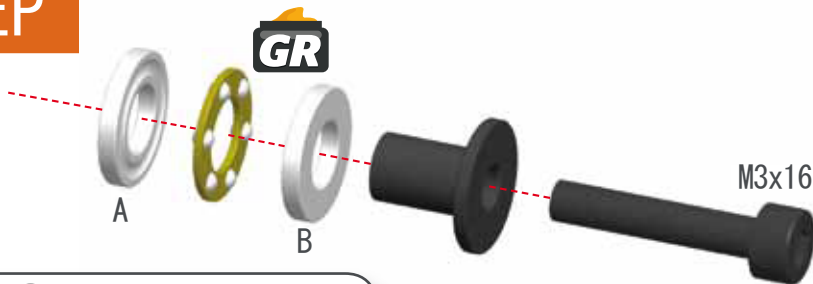
STEP 58.



! ピニオンギアの取付の向きに注意してください。

2ND 1ST
※ピニオンギアの断面

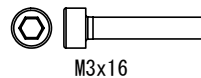
STEP



! スラストベアリングはAとBで内径が異なります。内径が大きい方をエンジン側に使用します。

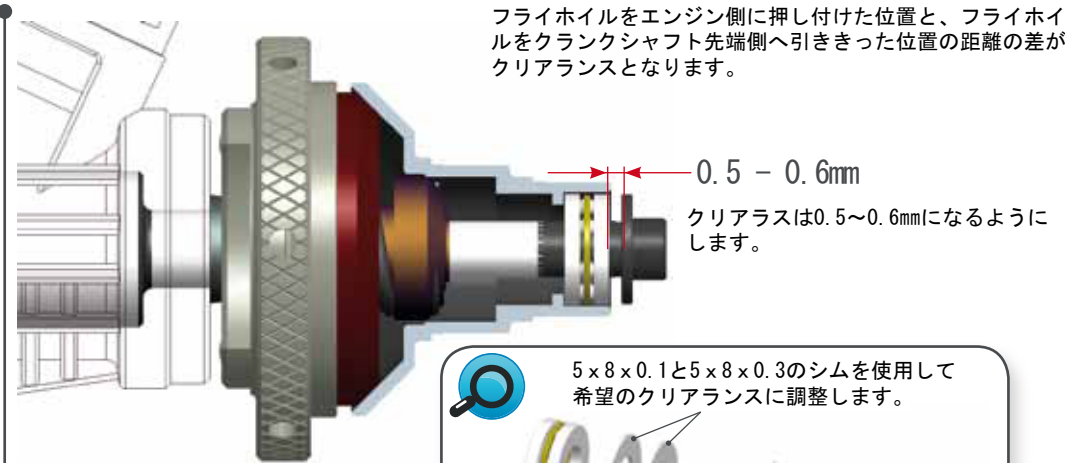
A B

5.2 mm 5.0 mm



STEP 59.

クリアランスを測定する際は、クラッチ内部のベアリングを抜いてから測定します。フライホイールをエンジン側に押し付けた位置と、フライホイールをクランクシャフト先端側へ引き寄せた位置の距離の差がクリアランスとなります。



! 5x8x0.1と5x8x0.3のシムを使用して希望のクリアランスに調整します。

STEP 59.

